

事務事業名	監査委員費										担当	部課名	監査事務局			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	06	目	01	細目	002	説明	01	課等の長	山口 雄賢	電話	5414

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 22 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	義務的自治事務
事業概要	監査委員が監査を執行するために要する経費。 非常勤監査委員の月額報酬(3名: 識見監査委員1名、議員選出の監査委員2名)及び日額報酬(監査専門委員1名)の執行、監査委員が定期総会等に出席する旅費等を執行する。 なお、代表監査委員(1名)の人件費は一般管理費に計上している。				
対象	4. その他 監査委員			4 人	
根拠法令等	法律等 地方自治法、藤沢市監査委員に関する条例、藤沢市代表監査委員規程、藤沢市監査事務処理規程				
事業実施内容	監査計画に基づく、定期監査、工事監査、工事請負契約監査、出資団体財務監査、例月出納検査及び決算・健全化判断比率等の審査を実施した。				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		3,339 千円	主な内容		
		費目	支出済額 (千円)				
		報酬	3,339 千円		監査委員3名(月額)		
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		3,339 千円	3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)		
		費目	支出済額 (千円)				
		分担金・負担金					令和3年度
		使用料・手数料					常時勤務職員※
		国庫支出金					0.50人工
		県支出金					短時間勤務職員(再任用・任期)
	その他 ( )			0.00人工			
	一般財源		3,339 千円	合計	0.50人工		
					※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く		
					会計年度任用職員(配置数)		
					0.00人		

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
コスト	行政費用 A	8,204	8,208	8,556	8,022
	(1)現金を伴う支出 (千円)	8,258	8,204	8,557	8,021
	事業費(支出済額)	3,439	3,344	3,397	3,339
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	4,819	4,860	5,160	4,682
	①常時勤務職員等の給与等	4,584	4,571	4,889	4,473
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0
	③退職金相当額	235	289	271	209
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-54	4	-1	0
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	-54	4	-1	0
	③不納欠損額	0	0	0	0
	④その他 ( )	0	0	0	0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		19.11 429,317	18.95 433,060	19.66 435,121	18.27 438,968
成果実績	指標名	目標	実績	目標	実績
	指標名	—	—	—	—
上記指標名の設定ができない理由		監査委員が監査を実施するための報償費が主な支出であるため、指標の設定ができない。			

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額  
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出  
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの  
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	監査事務局	氏名	中村 大	確認日	2022/8/31
----	-------	----	------	-----	-----------

事務事業名	事務局費										担当	部課名	監査事務局			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	06	目	01	細目	003	説明	01	課等の長	山口 雄賢	電話	5414

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 22 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	義務的自治事務
事業概要	監査事務局において、監査委員が監査を円滑に実施できるように、その職務を補助するために要する事務局の経費。				
対象	4. その他	監査委員	4 人		
根拠法令等	法律等	地方自治法、藤沢市監査委員に関する条例、藤沢市代表監査委員規程、藤沢市監査事務局規程、藤沢市監査事務処理規程			
事業実施内容	監査計画に基づく、定期監査、工事監査、工事請負契約監査、出資団体財務監査、例月出納検査及び決算・健全化判断比率等の審査を実施した。				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額 743 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主要内容
		需用費	480 千円	決算審査意見書の印刷製本、参考図書、事務用品等
		負担金補助及び交付金	185 千円	年会費(全国都市監査委員会他)、研修参加負担金
財源内訳	R3年度 支出済額 743 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ( )		
		一般財源	743 千円	

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	7.50人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	7.50人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
コスト	支出	行政費用 A	72,442	74,059	78,231	70,983			
		(1)現金を伴う支出 (千円)	73,250	73,994	78,260	70,976			
		事業費(支出済額)	978	1,103	874	743			
		償還金利息	0	0	0	0			
		人件費合計(①+②+③)	72,272	72,891	77,386	70,233			
		①常時勤務職員等の給与等	68,753	68,558	73,328	67,098			
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
		③退職金相当額	3,519	4,333	4,058	3,134			
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-808	65	-29	7			
		①減価償却費	0	0	0	0			
②退職給与引当金繰入額	-808	65	-29	7					
③不納欠損額	0	0	0	0					
④その他 ( )	0	0	0	0					
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		168.74	429,317	171.01	433,060	179.79	435,121	161.70	438,968
成果実績	指標名	目標	実績	単位	単位	単位	単位	単位	単位
	指標名	—	—	—	—	—	—	—	—
上記指標名の設定ができない理由		年間の監査計画に基づき監査事務を執行するための印刷製本費等や全国都市監査委員会等に支払う負担金が主な支出であるため、指標の設定ができない。							

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	監査事務局	氏名	中村 大	確認日	2022/8/15
----	-------	----	------	-----	-----------